

マスターズ甲子園2018実行委員会（第1回）議事録

日 時： 平成30年5月19日（土）16:00～18:00

場 所： 神戸大学人間発達環境学研究科 中会議室 B

出席者： 大会特別顧問：樽谷

大会顧問：高橋

大会会長：多湖

実行委員：前崎、宝槻、高山、小川、北野、浪花、谷、長ヶ原

事務局：松村、松崎、張、山下

欠席者： 実行委員：戒能、岡田、高田、杉山、小菌、大久保、小林、彦次

議 題：

- 1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況と予定について（資料1・資料2・資料3）
- 2) マスターズ甲子園 2017 事業報告について（資料4）
- 3) マスターズ甲子園 2018 事業計画について（資料5）
- 4) その他

議事録

16:05より長ヶ原実行委員長（以下、委員長と称す）のあいさつにより開会。委員長より実行委員会の趣旨および議題について説明が行われた。

議題1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況と予定について（資料1・資料2・資料3）

●全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況（資料1-1）

委員長より、平成30年度全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況について、配布資料を元に議論を進める旨が説明された。前崎実行委員、宝槻実行委員、高山実行委員、小川実行委員、北野実行委員より、各ブロックの加盟状況と動向についての説明がなされた。

●マスターズ甲子園2020年以降シリーズ案（資料2）

委員長より、配布資料に基づいた3年シリーズ案と共に理事会での協議内容が説明された。今後の進め方として、実行委員長より2020年以降シリーズ案の作成については、総会で提出された3年シリーズを基本とする「申請枠」「追加枠」に「ブロック枠」の説明内容を加え、日本一決定戦の毎年開催案と共に、春の選抜高校野球21世紀枠と同様の選出枠の案も含め、次回の理事会および実行委員会まで原案を作成し協議を行なうことが確認された。

●全国高校野球 OB クラブ連合定款・細則の変更について（資料3-1・資料3-2）

委員長より、理事会での協議内容と共に、配布資料の全国高校野球 OB クラブ連合定款・細則の内容に基づき、定款・細則の変更の可能性について、主に事業年度と共に決算報告の方法と総会に関する変

更案の検討について説明がなされた。今後の3年シリーズ案が導入された場合の事務局体制とブロック再検討、連合の法人化、会計年度も同時に考慮しながら、次回降の理事会ならびに実行委員会において引き続き検討していくことが確認され、全会一致で承認された。

議題2) マスターズ甲子園2017事業報告について(資料4)

委員長より、マスターズ甲子園2017事業報告ならびに、マスターズ甲子園2017実行委員会の収支決算書に関して説明がなされた。昨年の総会で認められた途中決算から、各収支項目について変更の確認が行われた。監査役の北野実行委員より、理事会および実行委員会の事業収支決算の監査報告が行われ、収支決算書について指摘すべき事項はなく適法かつ適正である旨が報告され、全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2017の両決算が原案通り承認された。

議題3) マスターズ甲子園2018事業計画について(資料5)

●マスターズ甲子園2018大会概要案と第100回全国高等学校野球選手権記念大会に向けた取り組みについて(資料5-1)

委員長より、配布資料に基づいたマスターズ甲子園2018本大会のプログラム案について説明がなされた。委員長より、例年行っている甲子園キャッチボールにおいて、①マスターズ甲子園オリジナルプログラム、②全国高校野球選手権大会第100回記念プログラムの2つのプログラム案が提出された。このプログラム案を基本として、浪花実行委員からの甲子園キャッチボールの募集の方法や本プログラムにおける運営についての注意事項についての指摘内容を勘案しながら、今後実行委員会ならびに事務局において募集に向けて検討を進めていくことと了承された。

委員長より、全国高校野球OBクラブ連合が高校野球100周年ロゴを大会ホームページでの掲載は朝日新聞社より許可を得ている旨の報告があり、今後は大会ポスターのロゴ使用許可を得た上で、ロゴ掲載方法とデータを各委員に報告し、各加盟都道府県幹事に連絡を行なっていく計画であることが説明された。また、委員長より以前の実行委員会で杉山実行委員より提案された、OBから第100回大会のお祝いや先輩から後輩への応援メッセージをマスターズ甲子園のホームページでアップする企画提案について検討を進めている報告がなされ、OBから現役の高校球児に向けたメッセージの配信・過去大会参加ボランティア・キャッチボール参加者からのメッセージ集約も含めたWEB調査方式による準備を進めており、調査案が完成した際にはその内容については理事・実行委員に連絡する旨が確認された。また、樽谷特別顧問より、現在100回記念大会に関するプログラム案とは別に、始球式といった新たなプログラムを検討すべきとの指摘があった。また、高橋顧問ならびに多胡会長より、第100回記念大会との連携は原案の内容で十分との指摘もあり、今後も実行委員会ならびに事務局において朝日新聞社と日本高校野球連盟との連携・確認のもと検討を進めていくことと了承された。

●全国高校野球OBクラブ連合2018年度予算案(資料5-2)

委員長より、2017年度の決算を踏まえて2018年度予算計画の説明で、収入合計6,120千円(新規加盟費460千円・年会費5,660千円)支出合計6,120千円(大会補助費4,610千円・事務局運営費1,050千円)積立金460千円の予算案の報告がなされた。

●マスターズ甲子園2018実行委員会2018年度予算案(資料5-3)

委員長より、2017年度の決算を踏まえて2018年度予算計画の説明で、収入合計22,083,165円(前年度繰越金予定含む・共催・協賛・広告・寄付・助成金等前年同様の計画)支出合計22,020,000円(球場費・大会補助費・事務局費等)次年度繰越金63,165円の説明と、現状の各協賛社等への継続要請と新規協賛社への働きかけを行っていくことが報告された。

議題4)その他

●マスターズ甲子園2018関連主要スケジュール

委員長より、マスターズ甲子園2018に関連する年度スケジュールに関して説明がなされ、次回第2回理事会・実行委員会は8月4日(土)に行われることが確認された。

●マスターズ甲子園予選大会出場条件に関して

委員長より、彦次実行委員から、今年大学4年生の野球部員が退部した場合のマスターズ甲子園の予選大会への出場条件に関して問い合わせがあった旨が報告された。小川委員と前崎委員より、退部届の提出確認をもって承認するこれまでの事例と共に、高山実行委員より、大学に限らず、社会人リーグに関しても、それぞれの野球連盟に対して選手登録をした当該年度は出場を認めない方針を関東ブロック連盟ではとっていることが報告され、これらの事例を説明の上、和歌山予選リーグでの基準検討とその基準を一貫していくことを確認していくことで一致した。

以上をもって議案の審議が終了し、委員長により18:20に散会